

保管・その他

- 本体生地は破れやすいので、突起物や高温のもの、化学薬品などに触れさせないでください。

仕様

	スタンダードタイプ		不燃タイプ		帯電防止タイプ	
	基布	ポリエステル	基布	ガラス繊維	基布	ポリエステル
本体生地	表面加工	塩ビシートラミネート	表面加工	シリコン樹脂コーティング	帯電防止加工	カーボン入り塩ビシートラミネート
本体生地厚さ	0.33mm		0.35mm		0.5mm	
長さ	5m		5m		5m	
色	オレンジ		グレー		ブラック	
レデューサー	あり		あり		あり	
接地(アース)線	なし		なし		あり	
スパイラルピッチ	150mm		150mm		150mm	
防炎性	(財)日本防炎協会認定品		(財)日本防炎協会認定品		(財)日本防炎協会認定品	
難燃性	—		(財)建材試験センター JIS A 1323 (難燃性試験) 合格		—	
該当品番 及び 質量(重量) (kg)	品番	質量	品番	質量	品番	質量
	RFD-200S	約2.5	RFD-200G	約3.1	RFA-200	約3.1
	RFD-230S	約3.1	RFD-230G	約3.8	RFA-320	約5.3
	RFD-280S	約4.1	RFD-280G	約4.6		
	RFD-320S	約4.6	RFD-320G	約5.3		
	RFD-520S	約7.7				

※該当品番の数字は接続リングの呼び径(リング内径)です。

取扱説明書や製品に関するご質問は下記までお問い合わせください。また、業務用途以外でお使いのお客さまが、製品に起因する死亡や重大な怪我に至る事故にあわれたときは、お手数ですが下記までご連絡ください。これは改正消費生活用製品安全法の報告業務規定によるものです。

総発売元 **トラスコ中山株式会社** お客様相談室 ☎0120-509-849
〒105-0004 東京都港区新橋4丁目28番1号 E-mail: techno.center@trusco.co.jp
製造元 株式会社 谷沢製作所 <http://www.orange-book.com/>

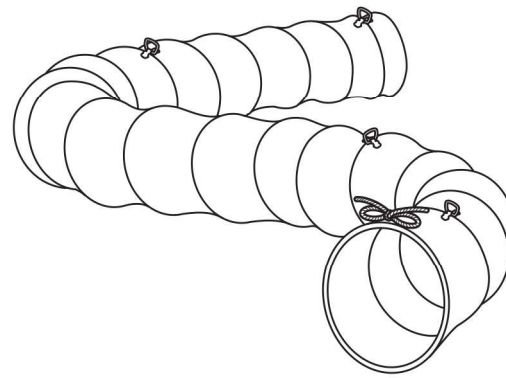
27.4.10M HD-© M3

— 4 —

MADE IN JAPAN



スタンダードタイプ/不燃タイプ/帯電防止タイプ フレキシブルダクト(风管) 取扱説明書



- このたびは、フレキシブルダクト(风管)をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- ご使用の際は、この取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、大切に保管し、必要なお読みください。

この説明書はスタンダードタイプ/不燃タイプ/帯電防止タイプを記載しています。該当する部分をお読みください。

フレキシブルダクトは送風機と組合せて使用し、送気用としても排気用としても使用できます。使用する場所や環境に適したフレキシブルダクトをご使用ください。

タイプ	用途(使用環境など)
スタンダードタイプ	一般用
不燃タイプ	高温・高熱の作業環境、防火・延焼に注意を要する環境 注意：生地の特性上、コンクリートなど滑らかでない床面に這わせて使用すると、擦り切れる場合があります。直接床面に接触しないようにしてご使用ください。
帯電防止タイプ	爆発の危険性がある環境

— 1 —

安全のため必ずお守りください

絵表示について この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 危険** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
- 警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

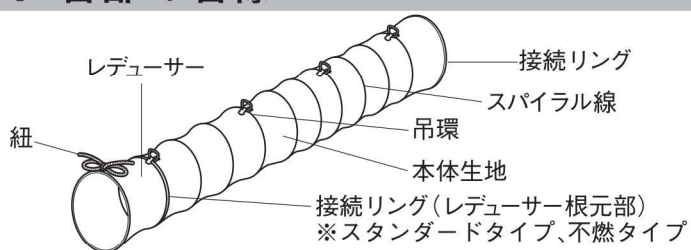
- ⊘ この記号は禁止の行為であることを告げるものです。
- ❗ この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

⚠ 危険		
爆発のおそれがある環境には、帯電防止タイプを使用する 送風による静電気火花放電による爆発事故を防ぐためです。❗	帯電防止タイプを使用する環境では、送風機も必ず帯電防止タイプを使用する スイッチ「入切」時の火花などによる爆発事故を防ぐためです。❗	帯電防止タイプは送風前に必ず正しく接地(アース)する フレキシブルダクトに帯電した静電気を、接地で逃がして、火花放電を防止します。❗

⚠ 警告	⚠ 注意
火気が懸念される場所や高温の環境では不燃タイプを使用する フレキシブルダクトを伝って延焼することを防止するためです。❗	火気や溶接の火花等をフレキシブルダクトに直接当てない 不燃タイプでも穴があきます。⊘

使いかた

1. 各部の名称



- 帯電防止タイプは、両端に接地(アース)線があります。

— 2 —

2. 送風機への接続 (レデューサー付)

(注) 送風機に接続バンドがあらかじめ取付いている時は、接続バンドを外してください。

スタンダードタイプ/不燃タイプ(レデューサー付)の場合

- 送風機のダクト接続口側胴部にレデューサーを被せる。
- 紐で送風機のダクト接続口側の胴部に固定(縛る)する。

帯電防止タイプ(レデューサー付)の場合

- 接地線のアースクリップを送風機側に付ける。
- 送風機のダクト接続口側胴部にレデューサーを被せる。

3. フレキシブルダクトの延長

- 送風機側のフレキシブルダクトの接続リングを歪ませて、延長するフレキシブルダクトの接続リングの奥へ押し込む。
- 安定するまで両側に引き戻す。
- 接続部のレデューサーは、内側になる送風機側の本体生地にレデューサーを被せて縛る。

4. 帯電防止タイプの接地(アース)接続と取外し

帯電防止タイプでは必ず接地(アース)してください。送風による空気摩擦で発生する静電気を逃がして、静電気の火花放電を防止するためです。フレキシブルダクトを延長した場合は全てのフレキシブルダクトが接地(アース)されていることを確認してください。

- 接地(アース)が完了してから送風してください。
- 水道管は樹脂製の場合があり、アース端子を接続しても接地(アース)にならない場合があります。
- ガス管への接続はかえって危険です。
- 取外すときは、作業終了(送風停止)後、放電完了まで十分な静置時間(約10分)を確保してください。

— 3 —